

中丸川土地改良区（茨城県）

女性が活躍できる土地改良区が理想です



後列) 坂本事務員 山崎事務員
前列) 海野理事長 安理事

やすよしこ 安良子 理事



サツマイモの掘り起こし機

理事になって思うこと

理事になってまだ間もないので、これから色々勉強していきたいと思えます。農業従事者が気軽に相談できるような理事を目指しています。私は、農業が大好きで、水田の縁に彼岸花を植えたり、小さな楽しみを見つけられるところも、農業の魅力なのです。お米や、茨城の名産品である、干し芋を作って、孫がおいしいと喜んで食べてくれることが励みとなっています。

女性理事登用を進めるための秘訣

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

私が理事という立場に一歩踏み出すことによって、自分以外の女性農業者の役に立つことができるのではないかの思いが強くなります。土地改良区をもっと身近に感じてもらえるように頑張りたいです。

組織の概要

面積：135ha
組合員：472人
理事：15人（うち女性員内1人or女性員外0人）
監事：4人（うち女性0人）
職員：2人（うち女性2人）
通常の理事：3選任区から各区3～7人を総代より
登用方法 候補者として選出している。

登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和6年 3月8日 総(代)会にて選任
3月29日 理事就任
(任期：令和9年3月28日)

安さんが理事を引き受けるまで



海野理事長

※どのように説得したか。
地元の農業者の平均年齢は68歳。しかも、後継者も少ない状況で、安さんのような農業従事者は貴重な存在です。今後の土地改良を考える上で、男女共同参画は急務です。後に続く女性理事の先駆者となってくれると思い、何度も説得しました。



安理事

※引き受けた決め手。
海野理事長が何度も来てくれて、農業をやっていただける方に地域のリーダーとして活躍してほしい、女性の視点で地域みんなの声を吸い上げてほしいと言われました。その言葉で勇気をいただき、引き受ける決心ができました。

うみのとみお 海野富男 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。
男性理事だけの土地改良区では、将来、立ち行かなくなる日がくると思います。そうなる前に、私のような立場の者が、男女共同参画に目を向けて土地改良区の将来を考えていかなければいけないと思います。
安理事やその後続く方には、女性が活躍できるという希望を持ってもらいたいと思います。